

新任医師 紹介

発行：社会福祉法人京都社会事業財団
京都からすま病院

広報委員会

2025年4月1日に着任いたしました、脳神経内科の木村格です。

今まで、主に、神経内科一般、脳血管障害、パーキンソン関連疾患、認知症、睡眠関連疾患などの診療に従事してきました。認知症については、前任地で、軽度認知障害や早期アルツハイマー病に対する新しい疾患修飾薬の治療にも携わっておりました。

今回、京都からすま病院では、神経内科一般、物忘れ外来、睡眠関連疾患から診療を始めたいと考えております。

神経内科一般の疾患として、頭痛、めまい・ふらつき、運動機能低下の症状や、脳血管疾患、パーキンソン関連疾患を対象とする予定です。また、物忘れ外来として、物忘れ症状に対する診断加療とともに在宅支援、また、先ほど述べました新しい疾患修飾薬の適応の判断と加療のため大学病院へのご紹介、引継ぎを行なっていきます。そして、睡眠関連疾患外来としては、睡眠に関連する疾患はたくさんありますが、当外来が対応する病気は、日中の強い眠気や睡眠中のいびき・無呼吸症状を起こす睡眠時無呼吸症候群、睡眠中夢見に関連して寝言や手足の動きが出るレム睡眠行動異常症、寝入りばなに手足、特に下肢にむずむずする、虫が這うような、だるいなどの症状が出現し眠りにくいことがある下肢静止不能症候群（レストレスレッグズ症候群、むずむず脚症候群）、日中の過眠症状や驚き・悲しみのような感情で力が入らなくなるナルコレプシー（過眠症）などです。このような症状でお困りの方がおられましたら、当科にご相談ください。

入院診療については、一般入院とともに脳血管障害後の回復期リハビリテーションをおこないます。地域連携のもと、高齢者の神経疾患についてもかかりつけ医療機関と連携をとりながら進めていきます。

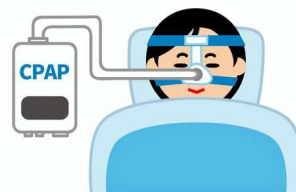
どうぞこれからよろしくお願いいたします。

脳神経内科

木村 格 医師

【専門医・その他】

- 日本神経学会専門医・指導医
- 日本睡眠学会総合専門医・指導医
- 日本臨床神経学会専門医（脳波）
- 日本内科学会認定内科医
- 認知症サポート医養成研修終了
- 回復期リハビリテーション病棟協会
回復期リハ病棟研修会専従医師研修会終了
- 医学博士（京都大学）



当院では毎週水曜に乳腺外来を行っております ～乳癌について～



乳がんは、わが国における女性のがん罹患率の最も高いがんで、年々増加しております。2020年のデータでは、生涯に乳がんを患う女性は9人に1人と推定されています。但し、早期に診断し治療をすれば、非常に予後の良いがんです。

当院では、乳腺外来の初診日に、マンモグラフィ・乳腺エコー検査を行っており、必要な患者さんには、同日に組織検査を行います。

乳がんが見つかりましたら、年齢や体力に合わせた、手術、薬物治療を計画いたします。

京都大学病院と連携し、随時放射線治療を行うことで、薬物治療の進捗と合わせて、治療成績が向上します。

気になる方がおられましたら、気軽に受診をお勧めください。

外科 岡村隆仁



マンモグラフィ



京都タワー（ピンクリボン）

※乳がん啓発イベント時